

発明の発掘とそのビジネス化

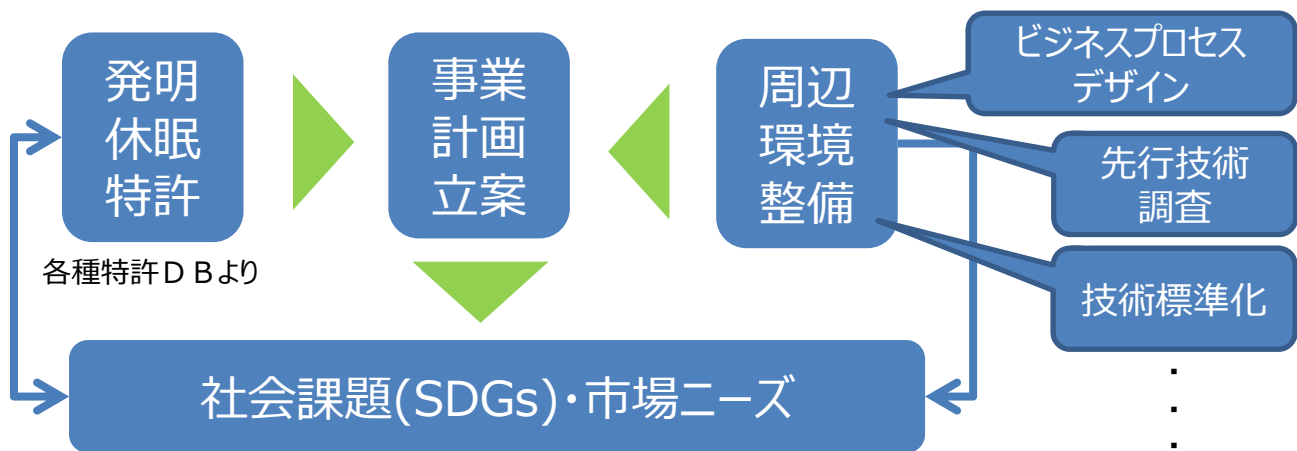
村川 一雄（むらかわ かずお）
知的財産研究科 教授



用途・応用分野：発明のビジネス化

■ 研究シーズ概要

当研究室では、発明の発掘とその活用をテーマとした取り組みを行っています。具体的には、企業や研究機関が保有する発明（特許や実用新案等）と社会課題や市場ニーズとのマッチングを調査研究します。さらに、発明の新たな適用先を模索し、あわせてその事業化プランを立案し、企業に提案するものです。事業化プランの立案では、事業化する製品の市場性や事業規模などを踏まえ、さらに、参入障壁を低減するための周辺環境整備（ビジネスプロセスデザインや技術標準化等）に対する取り組みも行います。



■ 研究シーズの特徴

事業計画立案において、先行技術や類似技術、類似製品、市場ニーズ、参入障壁等を調査します。さらに本学在籍のエンジニアや学生の力を活用することで、新たな事業モデルを創出し、さらに事業化計画を立案します。事業計画では発明からプロトタイプ試作につなげることが重要であり、その際、学内の人材リソースを活用し、プロトタイプを造るものです。ハード試作は多大なコストが掛かりますが、ソフト開発であれば、秘密保持契約を前提として学生の卒業研究として造ることで、低コストでプロトタイプ試作が可能となります。このことで、技術の活用や移転を早めることができます。

